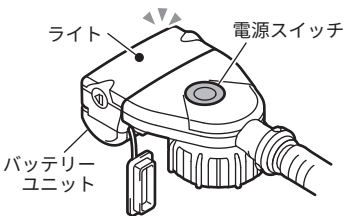


ポンプの使い方

《ポンプの状態お知らせライト》

- ポンプ本体にバッテリーユニットを取り付けて電源スイッチを操作すると、ライトはポンプの状態を下表のようにお知らせします。
- ライトが《ポンプの状態お知らせライト》として動いているときにライトスイッチを押しても、《独立したライト（照明）》と同じ挙動にはなりません。



■ ライトの見かた

【弱】点灯 →最長5分で消灯 ※1（オートパワーオフ・ポンプ停止）	給油中
【弱】通常点滅 →5分で消灯 ※2	給油完了
【弱】点滅 →1分で【弱】点灯に戻る ※1	バッテリー残量が少ない（早めの充電をおすすめします）
【弱】点滅 →2回点滅してすぐに消灯	バッテリー残量が少なく、使用できない（バッテリー上がり《充電してください》）
【弱】高速点滅 →5分で消灯 ※2	状態異常 - インペラに異物がはさまるなど、ポンプの運動を妨げていませんか（過電流検知）→原因を取り除いてください - バッテリーが高温になっていませんか（高温検知）→使用環境温度（12ページ「主な仕様」参照）を守り、原因を取り除いてください

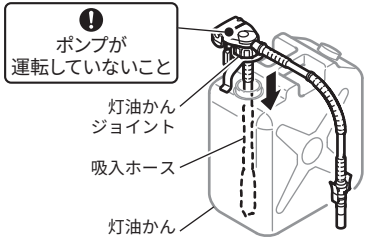
※1：給油中にポンプを停止せず、ライトだけ消すことはできません。
※2：すぐにライトを消灯したいときは、電源スイッチを押してください。

《ポンプの運転》

取り扱いのポイント

- 空運転（灯油かん内に灯油がない状態）での運転はしないでください。ポンプ故障の原因になります。
空運転による故障は保証の対象外です。

- ポンプが運転していないことを確認し、吸入ホースを灯油かんの底まで入れる
ポンプが運転している状態で吸入ホースを灯油かんに入れると、モーターが動いていても吸い上げができません。
- 灯油かんジョイントを回して灯油かんに取り付ける



7

バッテリーのリサイクル、本体の廃棄

本製品を廃棄するとき、バッテリーを内蔵したまま廃棄しないでください。火災などのおそれがあります。
以下の手順でバッテリーを取り出し、リサイクルに出してください。
なお一度バッテリーケースを外すと取り付けできなくなるため、製品は使用不可能になります。

1. 内蔵バッテリーの取り出し

- バッテリーユニットを図の向きにする
- すき間にマイナスドライバーなどをさし込みバッテリーケースを外す
バッテリーケースなどが破損する可能性があります。
ケガをしないよう慎重に行ってください。
- バッテリーコネクタを持って引き抜く
バッテリー本体やコード部分を持って引き抜かないでください。破損し、発熱などの可能性があります。
- テープ（絶縁テープ）でバッテリーコネクタ全体を覆う
- バッテリーをリサイクルに出す

《バッテリーの回収について》
バッテリーはリサイクル可能な貴重な資源です。
バッテリーのリサイクルにご協力ください。
ご使用済みのバッテリーは「充電式電池リサイクルボックス」のあるリサイクル協力店にお持ちいただくか、お住まいの自治体によるバッテリー回収にお出ください。または弊社「お客様相談窓口」へご相談ください。



リチウムイオンバッテリーはリサイクルへ

2. 本体の廃棄

バッテリー以外の製品本体・部品は、お住まいの自治体の決まりに従って廃棄してください。

10

ポンプの使い方

- ①クランプを動かし灯油が入る量を調整し、②クリップで燃料タンクに固定する

ポンプの停止時にはホース内の灯油も燃料タンクへ入ります。
最初はクランプの位置を一番上にし、その後調整してください。

- 電源スイッチを長押し（1秒）する

- ライトが点灯し、給油を開始します。
ポンプが動き、灯油が流れていることを確認してください。
- 停止線まで灯油が入るとセンサーが感知して給油を自動停止し、ライトが点滅します。
- センサーの感知前に給油を止めたい場合は、電源スイッチを押してください。電源が切れ、ライトが消灯します。



警告

下記のような形状の燃料タンクを持つ暖房器具には使用しないでください。自動停止センサーが正常に作動せず、灯油があふれたりすることがあります。

- ダルマストーブなど燃料タンクが本体と一体になったもの
- 燃料タンクの口にフィルターや突起形状のあるもの



①クランプ
手で持って上下に移動させます。位置が上＝早めに停止（給油量：少）
位置が下＝遅めに停止（給油量：多）
※最初は一番上に設定

②クランプレバー
手で挟んで、先のクリップで燃料タンクに固定します。
・給油口に挟めない場合、ノズル本体をまっすぐ手で持って給油してください。

停止線
この線まで灯油が入ります。

センサー部（液面感知部）
センサーが灯油を感知してモーターが止まります。
・最初から濡れていると誤作動します。
布で拭いてからご使用ください。

クリップ

燃料タンク

吐出口

吐出口

吐出口

吐出口

吐出口

吐出口

吐出口

吐出口

吐出口

吐出口

吐出口

吐出口

吐出口

吐出口

吐出口

吐出口

吐出口

吐出口

吐出口

吐出口

吐出口

吐出口

吐出口

吐出口

吐出口

吐出口

吐出口

吐出口

吐出口

吐出口

吐出口

吐出口

吐出口

吐出口

吐出口

吐出口

吐出口

吐出口

吐出口

灯油が燃料タンクに入ります

電源スイッチ

吐出口

燃料タンク

吐出口

吐出口

吐出口

吐出口

吐出口

吐出口

吐出口

吐出口

吐出口

吐出口

吐出口

吐出口

吐出口

吐出口

吐出口

吐出口

吐出口

吐出口

吐出口

吐出口

吐出口

吐出口

吐出口

吐出口

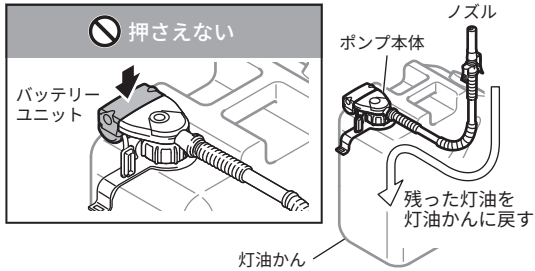
- ホース内に残った灯油を出し切る

ホース先端に付いた灯油が垂れないように注意しながら、ノズルをポンプ本体より高く持ち上げ、ホース内に残った灯油を灯油かんに戻してください。



注意

戻さないで灯油が垂れ、床などを汚すことがあります。



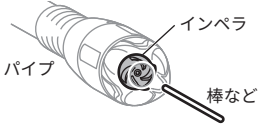
8

「故障かな？」と思ったら（故障と処置）

症 状	考えられる原因	処 置
・電源ボタンを長押ししてもポンプが動かない ・吸い上げない ・吸い上げが弱い	バッテリーユニットとポンプ本体がしっかり接続されていない	しっかり接続する
	バッテリー残量が少ない、バッテリーが上がっている	・充電する ・7ページ「ライトの見かた」参照
	バッテリーの温度が下がりすぎている	バッテリーユニット（バッテリー内蔵部分）を5～40℃の室内などに放置し、充電に適切な温度にする
	バッテリーの温度が上がりすぎている	・風に当てて冷ます ・7ページ「ライトの見かた」参照
・吸い上げない ・吸い上げが弱い	長時間の空運転によるポンプ内部（オイルシール）の破損	修理不可（保証の対象外）
	インペラの固着	・下記「処置」参照 ・7ページ「ライトの見かた」参照
	燃料タンク内のフィルターや突起物に当たり、跳ね返った灯油にセンサーが感知すると、ポンプの運転が止まります。	・燃料タンク内のフィルターを外す ・タンク内に突起物がある場合にはご使用になれません（12ページ「主な仕様」参照）
ライトが自動的に点灯・点滅などする	燃料タンクが高い位置にある	灯油かんの横におく
	電源を入れたまま灯油の中に吸入ホースを入れた	ポンプ本体の電源を切り、一旦ポンプを灯油かんから抜いてやり直す（7ページ《ポンプの運転》1）参照
ライトが自動的に点灯・点滅などする	ライトはポンプ運転およびバッテリー残量に連動して動きます。	6、7ページ「ライトの見かた」参照

処置：インペラの固着

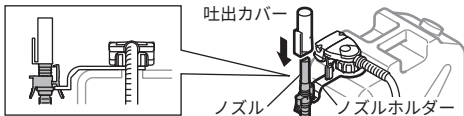
吸入口内のインペラが灯油で固着している可能性があります。
棒などでインペラを回して、固着を取り除いてください。



ポンプの使い方

- ノズルをノズルホルダーに収納する

- 吐出ホース先端に吐出力バーをかぶせる
ほこりの侵入を防ぎます。



注意

- 立ち上がる時など、バッテリーユニットを上から強く押さえたり、重いものを載せたりしないでください。破損する可能性があります。
- 吐出ホース先端を下に向けしないでください。吐出力バーが外れ、灯油が漏れるおそれがあります。
- ポンプ本体を灯油かんに取り付けたまま運搬しないでください。
灯油が漏れる原因になります。

お手入れと保管

1. お手入れ

- 汚れたときは、乾いた布できれいに拭いてください。
- ガソリン、ベンジン、シンナー、アルコールなどは使用しないでください。変色、変形、ひび割れの原因になります。
- ポンプに残った灯油はよく切り、乾いた布で拭いてください。

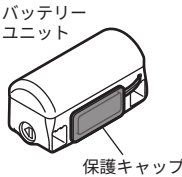
2. 保管

《保管場所》

- 室内で換気が良い
- 湿気やほこりが少ない
- 湿度や温度が急変しない
- 直射日光が当たらない
- 水、塩分、火気、可燃性ガス、揮発・腐食性物質、金属粉がない
- 子ども、ペットが触れない
- 熱源のそばや、真夏の締め切った自動車内など高温になる所は避ける

《長期間（2週間目安）ご使用にならない場合は》

- 充電してから保管してください。バッテリーが過放電状態（低電圧）になると、再充電できなくなる可能性があります。
- ポンプ本体を灯油かんから取り外し、お手入れ後に保管を行ってください。
- バッテリーユニットはポンプ本体から取り外し、保護キャップを開口部に装着した状態で保管してください。端子部にほこりや異物が付くと、接触不良や製品破損など不具合の原因となります。



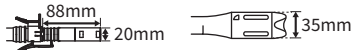
9

主な仕様

バッテリー、充電関係の仕様は5ページをご覧ください

機 種 名		BEP-F10
製 品 名		充電式灯油ポンプ
用 途		灯油かんからの灯油の移送 ※ 1、2、3
ポンプ	タ イ プ	遠心ポンプ
	吐出ホース長さ	600 mm
	吐 出 口 径	20 mm ※ 2
	吸 入 口 径	35 mm ※ 2
	吐 出 量	8 L/min ※ 4
使用液	液 質	灯油 ※ 1
	液 温	- 5 ～ + 40 ° C
自動給油停止装置		あり（液面感知センサー《ポンプの状態お知らせライト付き》）
保護・安全装置		ポンプ動作オートパワーオフ：5分
ポンプ運転時間（満充電時）		約 70 分 ※ 5
ポンプ運転量		20 L 灯油かん約 28 杯（560 L）※ 5
使用環境温度		- 5 ～ + 45 ° C
製 品 寸 法		全長（L）×全幅（W）×全高（H）：77 × 130 × 500 mm
製 品 重 量		330 g ※ 6
付 属 品		USB 充電ケーブル（30 cm）1 本 ※ 7、吐出カパー 1 個、保護キャップ 1 個、取扱説明書 1 部

- ※1：用途以外の目的に使用しないでください。
使用不可液体例：ガソリン、第一石油類、A重油、溶剤、薬品、水など
- ※2：サイズが合わない器具には使わないでください。
（JIS規格推奨・認定マーク付き灯油かん専用）。
・ストロー（吐出）側
・灯油かん（吸入）側



- ※3：下記のような形状の燃料タンクを持つ暖房器具には使用しないでください。自動停止センサーが正常に作動せず、灯油があふれたりすることがあります。
・ダルマストーブなど燃料タンクが本体と一体になったもの
・燃料タンクの口にフィルターや突起形状のあるもの



- ※4：JIS S 2037 流量試験法による。
- ※5：1充電あたり。実使用では使用状況によって異なります。
- ※6：内蔵電池を含む。
- ※7：USB充電ケーブルは本製品の充電以外に使用しないでください。
本製品と推奨 USB 充電器以外の動作確認は行っていません（2026年5月現在）。

12

11